



高津区福祉敬老大会に出席しました

9月13日(土)に、高津市民館大ホールで第53回高津区福祉敬老大会が開催されました。高津区長をはじめとする来賓も多く参加して、盛大に行われました。

主催者挨拶のち、90歳を迎える方々に、社会福祉協議会会長より、ひとりずつ記念品が贈られました。その後、地域福祉に貢献された団体や個人の方々への表彰が行われました。

その後アトラクションとして、川崎市立東高津中学校の吹奏楽部の皆さんによる演奏を楽しみました。ドラゴンクエストのテーマ曲にはじまり、坂本九の「上を向いて歩こう」、「明日があるさ」などの演奏で楽しませてくれました。

最後に主催者からの挨拶があり、第53回の福祉敬老大会は盛況のまま終了しました。



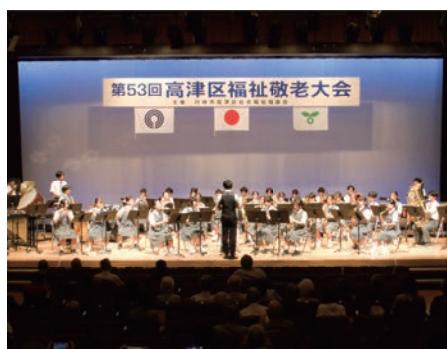
高津区長をはじめ、地元選出の議員など多くの来賓が参加して、敬老のお祝いをしました。



高津区社会福祉協議会の会長より、対象者のひとりひとりに記念品が渡されました。



地域福祉に貢献された団体や個人の方々に表彰が行われ、会長より表彰状が手渡されました。



川崎市立東高津中学校吹奏楽部のみなさんによる演奏で観客もおおいに盛り上がりました。



時おり見せるソロパートの演奏では、奏者の見事な技術に拍手がわいていました。



閉会後には参加者にどら焼きのおみやげが手渡されていました。



「夏休み親と子のお楽しみ会」が行われました

青少年福祉部では、毎年恒例の「夏休み親と子のお楽しみ会」を7月31日（木）、てくのかわさき2階ホールで開催しました。酷暑の続く中での開催でしたが、幼児やその保護者など64名の参加がありました。

絵本の読み聞かせ、DVDの上映、南京玉すだれ、手品など盛りだくさんの内容を幼児に飽きが来ないよう、なるべく短時間で終わるように工夫されていました。また、南京玉すだれでは、「アさて！」の返し言葉を幼児たちも大きな声を出して協力し、会場は大いに盛り上がっていました。



「あじさい会」20周年記念イベントが開催されました

下作延第二町会「あじさい会」は、「高齢者の皆様が心豊かに、笑顔で過ごせるひとときを作りたい」という思いから立ち上げました。このたび20周年を迎える9月22日（月）に来賓の方々を迎えて祝賀会を開催しました。主催者からは「ひとえに長年にわたるご支援、ご協力をいただいた皆様のおかげで、ご参加いただいた多くの皆様にも重ねて感謝します。これからも生きがいを感じ、生き生きと過ごせる『居場所』として、皆様と共に歩んでいきます」とコメントがありました。



健 康 チ ェ ッ ク! 相 談 コ ー ナ 一 賑 わ う

9月6日（土）「高津区健康福祉まつり」が開催されました。前日は大雨で、どうなることかと心配でしたが、当日はからりと晴れわたり残暑の日差しが照り付けており、胸をなでおろしました。

多くの地域住民が集い、オープニングでは、子供たちによるプラスバンドの演奏・太鼓の演奏・ダンスの披露等々で華やかに幕を開けました。会場では福祉団体の紹介や、健康チェック・相談コーナー、また脳の体力テスト等もあり、どこも順番待ちの盛況でした。

ボランティア団体の部屋では、手品や体操のパフォーマンス・歌声の広場等々があり賑やかな雰囲気に包まれました。どのブースも工夫を凝らし来場者と談笑する姿が見受けられ、参加者からは「地域のつながりが感じられた」、「健康づくりのきっかけになった」との声も寄せられました。



最後は歌声喫茶で、懐メロや童謡唱歌等を全員で歌い、一体感を感じ終了となりました。

地域と学校と子どもたち

川崎市立中央支援学校 校長 稲葉 武

中央支援学校は大戸分教室（小学部）、稻田分教室（小学部）、本校（中学部、高等部）、高等部分教室（高等部）、訪問教育（東横恵愛病院）で構成されています。生徒総数は321名、教職員245名の県内でもとても大きな支援学校です。



教育の内容は、小・中・高の各学校に準ずる教育を行うと共に、障害による学習上のまたは生活上の困難を克服し自立を図るために、必要な知識・技能を習得することを目的に、障害の種類、程度に応じて手厚くきめ細やかな教育を行っています。



10月4日（土）に本校舎にて「きらめき祭」が開催されました。中学部・高等部の生徒が授業で学習している体育の活動を、保護者参観のもと発表しました。学年ごとにダンス、徒競走、リレーなど日頃の学習の成果を発表し、たくさんの拍手をいただき、満足そうな笑顔がたくさん見られました。友達が演技している姿にも応援や拍手をしあいながらすばらしい1日となりました。

11月15日（土）には本校校舎にて「中央支援まつり」が開催されます。高等部の生徒が職業の時間に作った製品の販売や地域の各福祉作業所の販売を予定しています。今年はインクルーシブのeスポーツ体験会を予定しています。毎日、生徒の笑顔いっぱい、元気いっぱいの中央支援学校です。



高津区民祭でパレードに参加しました

高津区民祭は、昭和49年に「高津区民納涼祭」として開催され、毎年多くの人出で賑わいます。町会・町内会・自治会をはじめとする関係諸団体からなる実行委員会が主催となって、今年で49回目を迎えました。近年は、コロナ禍などの理由で、中止や規模縮小の開催などがありました。今年は6年ぶりにコロナ禍前の規模でイベントやパレードが行われました。

川崎市高津区社会福祉協議会でも「あなたのまちの民生委員・児童委員」「地域の身近な相談相手」と記載されたのぼりを掲げてパレードに参加しました。スタート地点の高津スポーツセンターから、二子新地駅前を通って、大山街道を溝の口神社近くの終点まで練り歩きました。民生委員・児童委員の活動を知つてもらうために、うちわも配布しました。久々にコロナ禍以前と同じ賑わいを見せた高津区民祭でした。





赤い羽根共同募金の街頭募金活動を実施しました

10月1日から「赤い羽根共同募金」が始まり、JR武蔵溝ノ口・東急田園都市線溝の口駅・梶が谷駅にて、街頭募金活動を行いました。皆様からお寄せいただいた募金は、高津区及び神奈川県内の地域福祉活動等に役立てられます。ご協力ありがとうございました。



県外研修が実施されました

10月30日（木）、31日（金）に社会福祉事業の先進的地域や施設において、会員（町会長、町内会長、自治会長、民生委員児童委員、主任児童委員、保護司、学校長）の福祉事業への関心及び理解を深めることを目的に研修が実施されました。1日目は、山梨県にある笛吹市社会福祉協議会が事業運営する高齢者の通いの場（デイサービス）と障がい者の通いの場（就労継続支援B型・生活介護）の3つの複合型施設である「スマイルいちのみや」での施設見学をしました。2日目には、山梨県立防災安全センターで、11月29日（土）の高津地区防災訓練に向けて、地震体験、煙体験、消火体験を通しての防火、防災の知識や心得を再認識しました。有意義な2日間の研修でした。



山梨県にある「スマイルいちのみや」

賛助会費ご協力ありがとうございました

このたび、地域の皆様に賛助会員のご協力をお願いしたところ、多くの方が賛助会員に加入していただき厚く御礼申し上げます。お寄せいただきました賛助会費は社会福祉事業の推進に役立たせていただきます。



「年末たすけあい募金運動」が始まります

今年も共同募金運動の一環として、12月1日から年末たすけあい募金が始まります（運動期間12月1日～12月31日）。皆さまからいただいた募金は、高津区内の介護が必要な方や障害のある方などの世帯へ、民生委員児童委員の協力を得て、見舞金としてお渡しするほか、高津区内の地域福祉活動団体の来年度の活動助成金等に活用させていただきます。皆さまの温かいご支援をどうぞよろしくお願ひいたします。

編集後記

例年以上に酷暑が続く中、夏から秋にかけて各地域で安全面に配慮しながら様々な行事が開催されました。紙面を通じて、それぞれの行事を楽しむ皆様の様子が伝われば幸いです。取材にご協力いただいた皆様、ありがとうございました（企画部 鏡淵）。